

ニュースリリース

## IGARASHI TAKENOBU Archive

「五十嵐威暢アーカイブ」グランドオープンのご案内

オープン：2023年11月1日（水）11時～

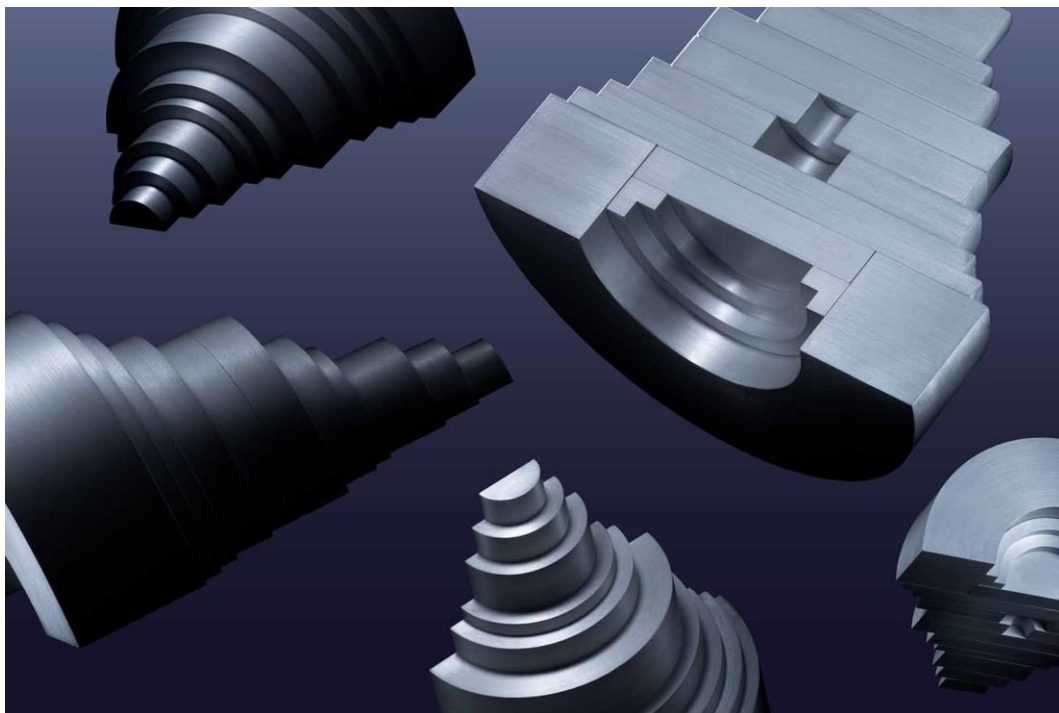
会場：金沢工業大学ライブラリーセンター2F

開館記念展示「見ているか？」〔第一期〕 入場無料

常設展示「Igarashi Takenobu デザインからアートまで」

会期：2023年11月1日（水）－2024年4月30日（火）

会場：ライブラリーセンター 2F 五十嵐威暢アーカイブ



本件に関するご取材、お問い合わせ先

金沢工業大学広報課 新田光子

koho@kanazawa-it.ac.jp

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1 電話 076-246-4784

<https://igarashiarchive.jp/>

## はじめに



左：五十嵐威暢アーカイブのあるライブラリーセンター、中央：アーカイブ入り口、右：アーカイブ内観

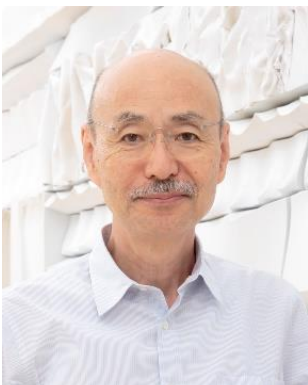
### 感性教育の拠点、五十嵐威暢アーカイブ

人間本来の「見る力」、「感じる力」、「考える力」を発揮する人材を育成し、これからの社会に貢献する必要性が再認識されています。金沢工業大学は、急速に変化する社会からの要請に応えるべく、これまで取り組んできたSTEM教育に「デザインとアート」を柱とした感性教育を融合すること\*、そしてその研究の充実と実践を行うことを目指しています。五十嵐威暢アーカイブは、そのための新たな学びの場として2023年11月1日にオープンします。本施設には2020年に彫刻家、デザイナーの五十嵐威暢氏から寄贈された5000点もの作品や資料が収蔵されています。多様なコレクションを活用した独自の教育プログラムを通じて、金沢工業大学の学生が独自の視点で世界を感受し、創造する力を引き出す活動を推進していきます。

また、街に開かれた学びの場所として一般の方々もご利用いただけます。

\*従来のSTEM〈Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Mathematics（数学）〉にA（アート）を統合した教育手法をSTEAM教育といいます。

### 五十嵐威暢（いがらしたけのぶ）



写真：伊藤留美子

1944年北海道滝川市生まれ。

多摩美術大学を卒業後、カリフォルニア大学で芸術学の修士号を取得。1970年代からデザイナーとして国際的に活動し、千葉大学、UCLAで教鞭をとる。多摩美術大学では、わが国初となるコンピューターによるデザイン教育の基礎づくりに参画、美術学部二部（のちの造形表現学部）創設に参加し、初代デザイン科学科長を務める。

1994年に彫刻家へ転身。2011年より多摩美術大学第9代学長を務め、現在は名誉教授。日常にアートをという理念のもと、国内外にパブリックアートとしての作品を数多く制作。デザイナーとして四半世紀、アーティストとして四半世紀を超えたいまも創作を続けるかたわら、次世代への教育にも情熱を傾ける。

## 施設概要

### 五十嵐威暢アーカイブ

金沢工業大学ライブラリーセンター2F

石川県野々市市扇が丘7-1 Tel. 076-294-6904 Fax 076-248-6189

URL <https://igarashiarchive.jp/>

Email [igarashiarchive@kanazawa-it.ac.jp](mailto:igarashiarchive@kanazawa-it.ac.jp)

スタッフ：野見山桜（主任専門員・学芸員） 松下三幸

開館時間：10時～17時

休館日：お盆、年末年始、作品入れ替え時に休館します。

休館日の詳細はWEBサイトにてご確認ください。

入場：無料

\*一般の方は金沢工業大学ライブラリーセンター1F受付へお越しください。

.....



#### 展示

アーカイブには2つの展示空間があります。それぞれの空間で五十嵐威暢氏の活動を紹介する常設展示、感性教育のための企画展示が行われます。



#### 教育プログラム

展示に応じたガイドツアーやワークショップなどが開催されます。研究や調査を目的とした作品・資料の特別閲覧も対応予定です。



#### コレクション

五十嵐威暢氏によるデザイン作品と彫刻作品、版下や模型などの関連資料、第三者による作品やプロダクトのコレクション、書籍によって形成されています。

.....

### 施設デザイン・施工（2023年3月）

#### 設計・監理

建築：アーキシップスタジオ 飯田善彦 山下祐平 塚本安優実

設備：森村設計 吉田崇 古峯佳奈

照明：Lumimedia lab 岩井達弥 石井孝宜 田部武蔵

家具・什器：早野意匠 早野正寿

サイン：ハダ ステュディオ 羽田健一

#### ロゴデザイン

モリデザイン 森治樹

#### 施工

建築：池田建設株式会社

家具：菊池家具

電気：米沢電気工事株式会社

空調：株式会社大気社

サイン：ヨシダ宣伝株式会社

#### 協力

イガラシアトリエ 羽田麻子

## 開館記念展示開催概要

見ているか

正面しか見ていないのではないか

後ろは見ているか

中は見たことがあるか

小さいものを見過ごしていないか

結局ほとんど何も見ていないのではないか

開館記念展示として、アーカイブの活動理念において重要なコンセプトで、本年度のテーマである「見ているか」という問いを基調にした展示を行います。

冒頭の文章は、五十嵐威暢が「見る」ことについて綴った一説です。五十嵐によれば、これは自身への訓戒だということですが、この極めてシンプルな問いかけに対して、多くの人たちがなにか核心をつかれたような気持ちになるのではないのでしょうか。私たちは、普段から「見る」という行為を当たり前にしていきますが、そこには必ず程度があります。(まじまじ) 見る、(さっと) 見る、(丁寧に) 見る、(ちょっと) 見るといったように、自分のなかでその程度を設定して目の前にあるものを認識します。本展示は、「見る」という行為から始まる思考や感情の動きを楽しむ実験室のようなものです。

.....

タイトル：「見ているか？」〔第一期〕

会期 : 2023年11月1日(水) - 2024年4月30日(火) 入館無料  
10時~17時(入場は閉場の30分前まで)

会場 : 金沢工業大学ライブラリーセンター 2F 五十嵐威暢アーカイブ

### 常設展示

タイトル：「Igarashi Takenobu デザインからアートまで」

五十嵐威暢を紹介する常設展示では、デザイナー時代から彫刻家へ転身後までの代表作品を通じて、その多彩な創作活動を振り返ります。



右：土の彫刻《深い海》を制作する五十嵐 2018年 左：ドラフターで作図をする五十嵐 1981年

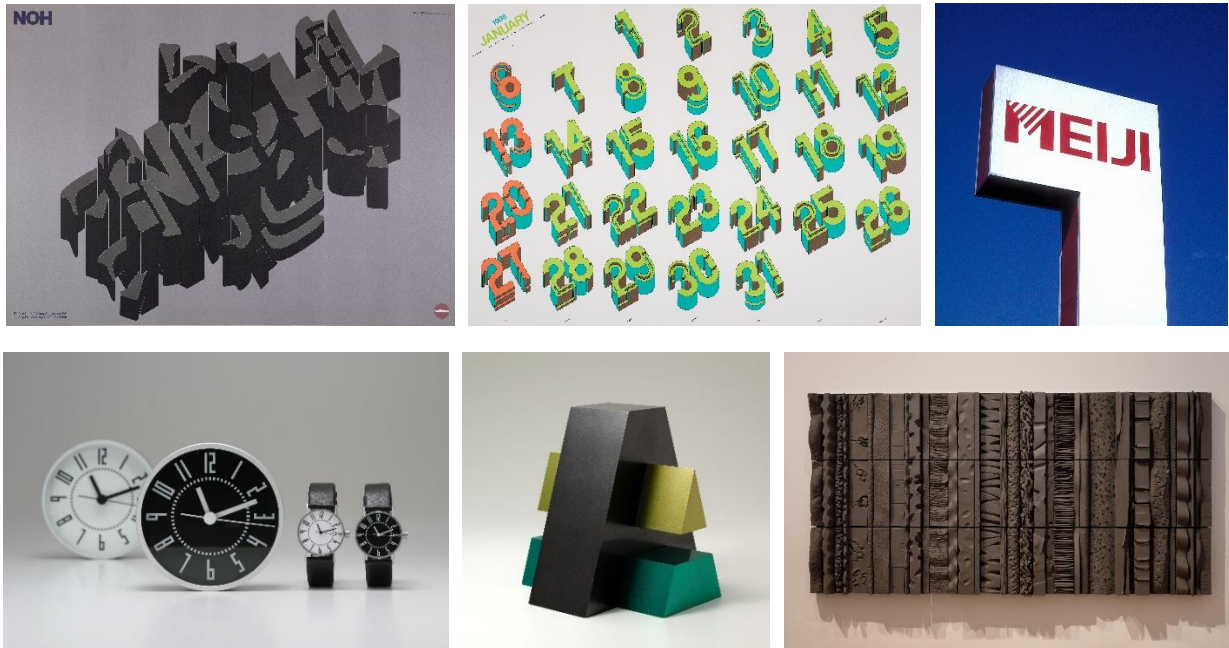
.....

### 展示デザイン

展示グラフィック：モリデザイン 森治樹

展示空間アドバイス：アーキシップスタジオ 飯田善彦 山下祐平

## 展示作品例



左上から ポスター《NOH》1981, 《MoMA ポスターカレンダー 1985年1月》, ロゴタイプ《明治乳業》1986,  
《eki clock, eki watch》2005, ABS 樹脂のアルファベット《A》1981, 《深い海》2018

## 開館記念トーク

### トーク1. 大澤 敏「工学の学びにアートを」(仮題)

11/10 17:30-19:00



大澤 敏

金沢工業大学学長/教授・理学博士

東京理科大学理学部化学科卒。同大学大学院理学研究科博士課程(化学)修了。マサチューセッツ大学博士研究員を経て、1996年金沢工業大学講師就任。助教授を経て、2004年教授。学生部、教務部、研究部、進路部等の副部長、バイオ・化学部学部長、教務部長を経て2015年副学長。この間、米国バドュー大学、スウェーデン王立工科大学、ドイツカールスルーエ大学等で工学教育の視察・研究に従事。2016年金沢工業大学第6代学長。

### トーク2. 菅 俊一「観察から広がる世界」(仮題)

11/28 17:30-19:00



菅 俊一 コグニティブデザイナー/多摩美術大学統合デザイン学科准教授

認知的手がかりを設計することによる行動や意志の領域のデザインを専門としており、近年は顔図版による視線を用いた誘導体験や人間の創造性を引き出すための制約のデザインについての探求を行なっている。主な仕事に、NHK Eテレ「2355/0655」ID映像、21\_21 DESIGN SIGHT 企画展「ルール?展」展示ディレクター。著書に「行動経済学まんが ヘンテコノミクス」(共著・マガジンハウス)、「観察の練習」(NUMABOOKS) など。

## 参加方法

定員(対面での参加)30名 申し込み先着順

11月1日からWEBサイトの「Learning」ページにて申し込みを受け付けます。

各回オンライン配信も予定しています。詳細は後日WEBサイトにてお知らせします。